

## 第36回2018三浦国際市民マラソングストランナー及びスペシャルゲスト

種目	No.	氏名	写真	所属	年齢	過去主要記録
5km	1	ウシロ ケイスケ 右代 啓祐		スズキ浜松AC ／国土館大学 (北海道出身)	31	2011年、13年、15年、17年 世界選手権十種競技 日本代表 2012年 ロンドン、16年リオデジャネイロオリンピック十種競技 日本代表 <自己ベスト> 十種競技／8308点(日本記録)
	2	カミノ ダイチ 神野 大地		コニカミノルタ ／青山学院大学 (愛知県出身)	24	2015年 箱根駅伝 5区区間新 2016年 唐津10マイルロードレース 優勝 2017年 丸亀ハーフマラソン 5位 <自己ベスト> ハーフマラソン／1時間01分04秒 マラソン／2時間12分50秒
	3	シntax マサナリ 新宅 雅也		エスディーコーポレーシ ョン ／日本体育大学 (広島県出身)	60	1980年 モスクワオリンピック 3000mSC、5000m 日本代表 1984年 ロサンゼルスオリンピック10000m 日本代表 1988年 ソウルオリンピックマラソン 日本代表 1985年 福岡国際マラソン 優勝 <自己ベスト> 5000m／13分24秒69 10000m／27分44秒5
	4	ツナシマ タツヤ 綱島 辰弥		湘南学院高等学校 ／横浜市立藤の木中学校 (神奈川県出身)	17	2017年 県高校新人陸上競技大会3000mSC 優勝 2017年 関東高校選抜新人陸上競技大会3000mSC 4位 <自己ベスト> 3000mSC／9分28秒58
	5	モリ キョウカ 森 京香		積水化学 ／大阪薫英女学院高校 (大阪府出身)	21	2016年 第36回全日本実業団対抗女子駅伝 出場(4区) <自己ベスト> 5000m／16分20秒04
	6	ウダガワ ユウキ 宇田川 侑希		積水化学 ／日本体育大学柏高校 (東京都出身)	20	2017年 第65回全日本実業団対抗陸上選手権大会 ジュニア3000m 8位 <自己ベスト> 3000m／9分17秒72

ハーフ	7	オキモリ サトシ 沖守 伶		サンベルクス ／国学院大学 (大阪府出身)	25	2012、13、14、15年 箱根駅伝 出場  2016、17年 ニューイヤー駅伝 出場  <自己ベスト>  5000m／13分57秒07  20Km／59分37秒
	8	マツバラ ケイスケ 松原 啓介		サンベルクス ／中央大学 (千葉県出身)	24	2015、16年 箱根駅伝 出場  2018年 ニューイヤー駅伝 出場  <自己ベスト>  ハーフマラソン／1時間3分55秒  マラソン／2時間21分11秒
	9	モリ ユウキ 森 湧暉		八千代工業 ／順天堂大学 (宮崎県出身)	23	2014年 立川ハーフマラソン 出場  2015、16年 箱根駅伝 出場  <自己ベスト>  ハーフマラソン／1時間3分35秒
	10	カタオカ ジュンコ 片岡 純子		リスタート ／東京農業大学短期大学 (東京都出身)	47	1993年 東アジア大会3000m 日本代表  1993、95年 世界選手権10000m 日本代表  1994年 東京シティマラソン 優勝  <自己ベスト>  ハーフマラソン／1時間8分41秒  マラソン／2時間28分20秒
	11	ナカザワ リンゴ 中沢 りんご		三浦学苑高等学校 ／三浦市立三崎中学校 (神奈川県出身)	17	2016年 神奈川県高校駅伝 2区区間賞  2016年 関東高校総体女子3000m 出場  <自己ベスト>  3000m／9分40秒23

スペシャルゲスト

2018ミス日本 グランプリ  
市橋 礼衣



1994年11月9日生まれ(愛知県出身)  
 中学一年生からダンスチームに所属し、世界大会に三回出場。2010年と12年には優勝を果たしたこともある、躍動感と表現力に秀でた女性です。かつては東方神起やドリカムのバックダンサーを務めたこともあります。  
 目標を定め、堅実に努力と鍛錬を重ねており、健康的で力強いプロポーションを誇ります。  
 昨年は地元名古屋の名門企業に就職し、社会人として歩み始めました。しかし働くほどにダンサーとしての想いがあたまをもたげてきます。世界の舞台へ立った経験が、もっと日本のことを良く知りたいという考えにいたり、ミス日本コンテストへの出場を決意。表現力だけでなく、教養を深めることに注力してきました。  
 理想とする女性には山口百恵さんを挙げ、これからは表現者としての道を改めて目指していく希望を掲げています。